

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1-42	令和2年度「第2回墨田区がん対策推進会議」		
開催日時	令和3年3月16日（火） 午後1時半から午後2時半まで			
開催場所	墨田区役所 12階 121 会議室			
出席者数 （18人）	【外部関係者】 渡邊清高、足立健介、福井一人、寺田仁志、武井和彦、森 信之、桜井なおみ、佐藤文子、椎名美恵子、佐藤幾洋子（敬称略） （計10人） 【部内関係者】 保健衛生担当部長、保健衛生担当次長（保健計画課長事務取扱）、向島・本所保健センター所長、保健予防課長（計4人） 【事務局】 保健計画課健康推進担当主査2人・保健計画課健康推進担当主事2人（計4人）			
	公開(傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
議 題	1 開会 2 保健衛生担当部長挨拶 3 議事 （1）各専門部会の報告について （2）令和2年度のその他の取組の報告について （3）令和3年度のがん対策推進会議と専門部会について （4）その他 3 閉会			
配 布 資 料	【机上配布資料】 追加資料 がん対策における新型コロナウイルスの影響 1 令和2年度「墨田区がん対策推進会議」委員名簿 2－1 令和2年度「がん検診精度管理部会」の報告 2－2 令和2年度「たばこ対策部会」の報告 3－1 令和2年度 がん対策事業の実施状況 3－2 がん教育事業の取組みと報告 3－3 在宅緩和ケア事業実施報告 4 令和3年度「墨田区がん対策推進会議」の概要（案） 5－1 令和3年度「がん検診精度管理部会」の概要（案） 5－2 令和3年度「たばこ対策部会」の概要（案） 6 ご意見・ご質問シート			

会 議 概 要	1 開会 2 保健衛生担当部長挨拶 (省略) 3 議事 (1) 各専門部会の報告について 資料2-1に基づき、事務局より「がん検診精度管理部会」について報告。 【意見・質問等】 渡邊会長：今年度の検討内容について、何かご意見はあるだろうか。 福井委員：精度管理部会では、検診受診者が多い医療機関へプロセス指標の情報提供を行い、改善を促す方針となった。受診者数が少ない診療所等へは、協力を得られるよう墨田区医師会が働きかけをしていきたい。また、がん検診の自己負担額の導入については、どれ位の財源を確保するための金額設定なのか等、予め自己負担の金額の設定理由を明確にしてほしいと考えている。 渡邊会長：持続可能な仕組みをつくりながら、その影響についても引き続き注視していくことになるかと思う。精度管理については、事業評価のチェックリストの実用化に向けて、具体的な取り組みをしているところかと思われる。 資料2-2に基づき、事務局より「たばこ対策部会」について報告。 【意見・質問等】 武井委員：昨年12月に開催のたばこ対策部会では、店舗への調査結果が具体的なパーセンテージで示されていて、よかった。コロナ禍で、対策が思うように実行できないことがあるだろうが、いま現在取り組んでいることについて、聞きたい。 渡邊会長：今後の取り組みについては、次の議題でご説明するという事で良いだろうか。 事務局：次の議題でご説明する。 渡邊会長：たばこ対策部会委員の寺田委員は、何かご意見はあるだろうか。 寺田委員：資料2-2の店舗調査結果を見ると、「ステッカーの表示あり」の飲食店が高いパーセンテージとなっている。一方、街中で飲食店の前を通ると、店外で喫煙しているのをよく見かける。お店の中は禁煙だが、店の外や道路上で喫煙する人が増えることについて、対策をとっていく必要があると考える。 渡邊会長：とても重要な視点だと思う。 (2) 令和2年度のその他の取組の報告について 資料3-1 個別目標1「科学的根拠に基づくがん予防の充実」について事務局より報告。 【意見・質問等】 渡邊会長：薬剤師会の禁煙対策についてご意見を伺いたい。
----------------	--

森 委 員：今年は、コロナ禍により毎年実施している禁煙対策ができなかった。来年度では、コロナ禍でも実施可能な対策を考えていきたい。

資料３－１ 個別目標２「がんを早期発見するためのがん検診の充実」について事務局より報告。

【意見・質問等】

佐藤（幾） 委員：コロナ禍のため、毎年受けている健診・がん検診を今回は控えようと思っていたが、がん対策推進会議の委員も務めている身なので、考え直して検診を受けた。区民の皆様にもコロナ禍だが、がん検診をぜひ受けてほしいと思う。

渡邊会長：今後、がん検診については自己負担額の導入が検討されているが、引き続き受診の啓発についても力を入れてもらいたいと思う。

資料３－１ 個別目標３「がんに関する正しい知識の普及啓発・健康教育の充実」、個別目標４「がん患者が尊厳を保ちつつ安心して暮らすことのできる地域社会の実現」、資料３－２、３－３について事務局より報告。

【意見・質問等】

足立委員：コロナの影響で、集まって実施するような取り組みについては、なかなかできなかったと思われる。そんな状況でも、がん拠点病院である都立墨東病院には、小学校・中学校・高校からがん教育の授業実施の依頼が来ており、来年度の実施となると思うが、可能な限り取り組んでいきたい。先ほど、がん検診の大切さについて、佐藤委員から話があったが、「社会全体でがんを考える」を念頭に、小・中・高校のレベルから積極的にがん教育に関わっていきたい。

佐藤（文） 委員：「社会全体でがんを考える」に賛成である。こどもの教育はとても大切。がんはうつらない、（早期発見すれば）怖くないということを伝えてもらえたらいいと思う。ただ、自分ががんになってしまうと、家族や友達には、がんのことを話しにくいと感じる。

（３）令和３年度のがん対策推進会議と専門部会について

資料４・５－１・５－２に基づき、事務局より説明

渡邊会長：令和３年度のがん対策推進会議・専門部会の開催については、委員の皆様からの承認事項になっている。事務局の説明のとおりで開催でよろしいだろうか。

委員一同：（異議なし）

渡邊会長：他にご意見はあるだろうか。

桜井委員：２点、申し送りしたいことがある。１点目は、がん教育について。がん教育の外部講師として、今年度、何回か授業をする機会を得たが、学校で保護者向けに配布する資料があったらいいと感じた。２点目、ライフステージに応じたがん対策としての、若年者への在宅療養費の補助事業について。コロナ禍で、緩和ケア病棟がコロナ病棟に変わる等の影響に

	より、A Y A世代の患者が自宅での療養を望んでも、介護保険の対象でないため、制度を利用できず非常に困っている現状がある。A Y A世代が自宅で療養生活をする場合、公費での援助がないため自費で療養せざるを得ない状況がある。東京都には制度の設立について申し入れをしているが、地域の実情に応じて、それぞれの区で対応をという回答だった。条例を制定する自治体も複数出てきているため、墨田区にも若い世代のための対策をお願いしたい。 渡邊会長：先日あったがん対策推進協議会でも、ライフステージに応じたがん対策や、コロナの影響で在宅を余儀なくされた患者さん向けのサポートが話題にあがっていたところである。来年度にも議論が必要となってくるのではと思いながら拝聴した。 以上をもって、本日の議事は全て終了となる。 6 閉会 高橋次長：今回の会議で、委員の皆様の任期満了となるため、来年度の会議の開催にあたり、改めて委嘱の手続きをさせていただく。 今回の会議において、追加のご意見、ご質問などあれば、事務局までご連絡を賜りたい。以上をもって令和2年度墨田区がん対策推進会議を終了する。 会議の概要は以上である。
所 管 課	福祉保健部 保健衛生担当 保健計画課 健康推進担当 （内線 3 5 3 5）